



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754

伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第463号

2020年7月13日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

コロナ禍のもとストレスを抱える子どもたち

3月2日、突然全国一斉休校。子どもにも親にも教職員にも大きな不安と負担をもたらしました。安倍首相の思い付き方針の影響は検証されていません。今後、国民的な議論が必要です。

さらに休校は4月、5月に延長され、ようやく6月から新学期が再開されました。子どもたちは友達と一緒に遊べる喜びもありますが、コロナ感染しないように注意を払いながら学校生活を送っています。「新しい友達と仲良くなれるか、授業についていけるか、いつも同じ注意を受けイライラする、思いっきり体を動かすスポーツがしたい。」等々。ストレスを抱えながら学校生活を送っています。

分散登校の体験から少人数学級の良さが認識

「三密」を避けるためにクラスの子どもたちを半分に分け、分散登校が行なわれました。先生も子どもも20人以下のクラスは初体験です。先生たちは、「一人ひとりの子どもたちとゆっくり対話し、話を聞くことができうれしい。学習内容が理解できたかどうかを表情から読み取る余裕がなかったことに気づかされた。」と言います。少人数学級の良さが全国で起きています。

子どもたちからは、「新型コロナ対策や休校などについて大人と一緒に考えたい」という声も上がっています。

新型コロナの収束はまだ先が見えませんが、新しい時代の在り方を見直すことが始まっているのではないのでしょうか。

全国知事会も少人数学級実現の提言

八千代市教育委員会は、コロナ禍の中で阿蘇中学校に小・中4校の統廃合計画を強引に推し進めています。第2波・第3波が想定されるもとで、今後の学校の在り方が問われているのに、教育委員会はこの方針を再検討し撤回しようとはしていません。「三密」を回避するための学校は、少人数学級でなければならないと認識されているのに時代錯誤です。

文科省は「学校の新しい生活様式」として、教室は20人程度に抑えることとしています。さらに7月2日には全国知事会は、全国市長会、全国町村会と連名で少人数学級を求める緊急提言をしました。

日本共産党は、少人数学級にするために全国で10万人の教職員を確保し、その予算は1兆円でできると提案しています。

子どもたちのために「少人数学級」をプレゼントしようと訴えています。

